

# 新しい銀座ヴィジョン

未来にわたって銀座が個性輝く街でありつづけるために

**GINZA**  
Machidukuri Council



主催 銀座街づくり会議／G2020

連続  
シンポジウム

第2回

## 銀座の公共空間の活用

銀座は銀ブラの街、歩いて楽しい街。そして商業の街。海外観光客も増加する今、より多くのお客様に銀座を回遊し楽しんでいただき、街全体を活性化するために、重要なのが公共空間の活用です。銀座に公園は少ないですが、道路も公共空間のひとつです。海外では道路活用による街の活性化のさまざまな事例が生まれており、国も規制緩和の方向へと動き出しています。

日時

2016年9月9日(金)  
15:30～17:30(15:00開場、受付開始)

場所

銀座フェニックスプラザ3F会議室  
(中央区銀座3-9-11)  
<http://www.phoenixplaza.co.jp/>

参加費無料／定員200名

※定員に達し次第、申込みを締め切らせていただきます。  
※誠に恐れ入りますが、1社2名様までとさせていただきます。

### 基調講演

## 「誰のための公共空間か」

講師 出口 敦 東京大学大学院  
新領域創成科学研究科 教授



1990年東京大学大学院博士課程修了(工学博士)。九州大学助教授、MIT客員研究員、九州大学教授を経て、2011年より現職。専門分野は、都市デザイン学、都市計画学。著書に「アジアの都市共生」(編著、九州大学出版会)等。「We Love 天神協議会」「博多まちづくり推進協議会」の設立に参画。柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)センター長。

### 報告

## 「銀座歩行者天国について」

講師 三浦 詩乃 横浜国立大学大学院  
都市イノベーション研究院 助教



2015年東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了(環境学博士)。博士過程において、東京都の歩行者天国施策やニューヨーク市の道路再編事例などストリートデザイン・マネジメントを対象とした研究を行い、現職にいます。

### パネルディスカッション

## 「銀座における 公共空間活用の可能性」

司会進行 中島 直人 東京大学大学院工学系研究科  
都市工学専攻准教授

出口 敦

太田 浩史 (建築家、東京ビクニッククラブ)

泉山 晃威 (明治大学)

伊藤 明 (株伊東屋、全銀座会催事委員長)



太田 浩史

1993年東京大学大学院研究科建築学専攻修士課程修了。同大学生産技術研究所助手。2000年デザインズープ共同設立。2003～08年、東京大学国際都市再生センター特任研究員。2009～2015年、同大学生産技術研究所講師。2015年より株式会社スープ代表取締役。2002年より東京ビクニッククラブ共同主宰。主な作品「京橋AGCスタジオ」「矢吹町第一区自治会館」「ビクノポリス」。主な著書「コンパクト建築設計資料集『都市再生』」(丸善、2014年)。博士(工学)。



泉山 晃威

明治大学理工学部助教。一般社団法人パブリック・プレイス・パートナーズ代表理事。ソノバ編集長。2015年明治大学大学院博士後期課程修了(工学博士)。公開空地や道路占用許可の特例、エリアマネジメントのビジネスモデルの視覚化などの研究や実践プロジェクトを手がける。著書に、「市民が関わるパブリックスペースデザイン-銀座市における市民・行政・専門家の創造的連携-」(共著、エクスナレッジ、2015年)がある。



伊藤 明

慶應義塾大学法学部卒業後、アートセンターカレッジオブデザイン(米国)で工業デザインを専攻。1991年卒業。1992年株式会社伊東屋入社。2005年代表取締役社長就任。企業経営のかたわら、伊東屋オリジナル商品開発に携わる。2007年より銀座通連合会常務理事、2009年より全銀座会催事委員会委員長、2012年より日本専門店協会理事、日本デザイン振興会、丸の内ブランドフォーラム等で講演。2016年より東京商工会議所中央支部評議員。

シンポジウム参加ご希望の方は、  
ファックス、またはメールにて、

**9月2日(金)**までに  
お申し込みください。



FAX

**03-3563-0236**

(下記のFAX申込書にご記入いただきお送りください。)



E-mail

**event@ginza-machidukuri.jp**

(①お名前 ②ご所属 ③お電話番号 ④メールアドレスをご記入ください。)

## シンポジウム参加申込書(FAX)

お名前	貴社名・ご所属
ご住所	TEL
FAX	E-mail

※参加証・会場地図をお送りしますので、FAX番号もしくはメールアドレスを必ずご記入ください。

### 「新しい銀座ビジョン」を描くために

銀座では近年、①外国人観光客の激増 ②経済状況の変化 ③都市景観・都市空間の変化などをはじめ、大きな変化と課題が生れつつあります。さらに2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を機に、銀座周辺の街の変化、交通体系の変化が生れています。

それらの変化に対応し、全銀座会の各団体、各店舗の企業が連携をとりあいながらオリンピック・パラリンピック対応に街全体として取り組むため、2014年、全銀座会では、プロジェクトG2020を発足しました。G2020は単にオリンピック・パラリンピック対応のためのプロジェクトではなく、2020年をきっかけとして銀座という街の価値を向上させ、長期的に銀座のブランド力を維持することを目的としています。

10年以上にわたる活動を行ってきた銀座街づくり会議はG2020とともに、銀座がその魅力を最大限に生かし、オリンピック・パラリンピック後も、未来にわたって唯一無二の、光り輝く個性を放つ街でありつづけるために新しいまちづくりビジョンを描きたいと考えています。そのため、幅広く情報を集め意見を聞く機会が必要だと考え、2016～2017年度にかけて、連続シンポジウムを開催することにしました。

それらをまとめてゆき、アクションにつなげると同時に、2019年に銀座まちづくりビジョンの発表をめざします。

主催 銀座街づくり会議／G2020

### 〈今後のシンポジウムのテーマ〉(予定)

建築物と広告の関係

変わりつつある都市の街並みと建築

銀座の交通とまちづくり

銀座文化の継承と発信

世界に発信するブランド力

世界に伝える銀座街づくりルール

多様化する来街者たち

まちづくりの資源とは?

その他

詳細につきましては、決まり次第

銀座街づくり会議ホームページ  
([www.ginza-machidukuri.jp](http://www.ginza-machidukuri.jp))

にてお知らせいたします。

なお、タイトルと順番は変更になる場合がございます。

あらかじめご了承ください。

お問い合わせは、銀座街づくり会議

〒104-0061 中央区銀座4-6-1-3F TEL 03-3567-1535 FAX 03-3563-0236 WEB <http://www.ginza-machidukuri.jp/>